

棚POWER[®]操作テキスト

棚割編集 -基本編-

2025 年 5 月



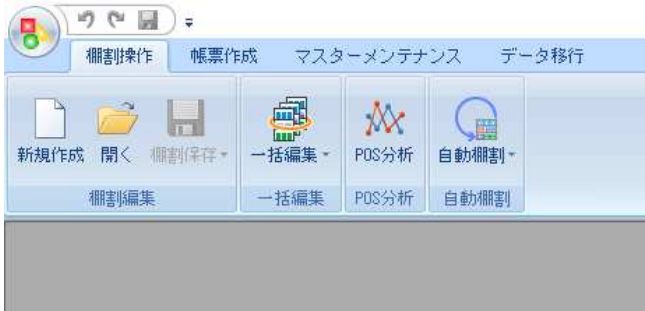
目 次

1.	棚POWERの起動と棚割モデル作成準備	1
	起動方法・インターフェイス	1
	マスターの概要とカテゴリー登録	2
2.	棚割モデルの新規作成	5
	新規作成	5
	基本情報の登録	6
	什器配置	7
	台編集・段編集・挿入・移動・複写・削除・詳細設定・一括設定	
	商品の陳列	11
	商品配置（挿入・移動・複写・削除）	
	表示解像度	14
	配置変更	14
	面変更	15
	積上・積下	15
	ダミー商品	16
	フリー領域	17
	一括フェイス変更	17
	商品詳細	18
	商品色付	18
	反転除外設定	18
	仮置情報	19
	仮置情報 1, 2・クリップボード読込	
	圧縮率	20
	連結	21
	画像出力	22
	オプション設定	23
3.	帳票作成	24
	棚割帳票（棚割図）	24
	帳票の設定	24
	プレビュー・Excel 出力	25
4.	モデル保存	26
	内部モデル保存	26
	外部モデル保存	26
	棚割モデルを閉じる	27
	保存したモデルを開く	28
	外部モデルをドラッグ & ドロップで開く	28

■起動方法・インターフェイス

棚POWERを起動します。

[スタート]－[すべてのプログラム]－[棚POWER]－[棚POWER]を開きます。(Windows7の場合)



1. 棚POWERでは、リボンインターフェイスを採用しています。

各ボタンにはビジュアルアイコンを採用して、利用シーンごとにグルーピングしているため、直感的に操作することが可能です。



2. 使用頻度の高い機能は、クイックアクセスツールバー (QAT) に登録して常に表示させておくことが可能です。

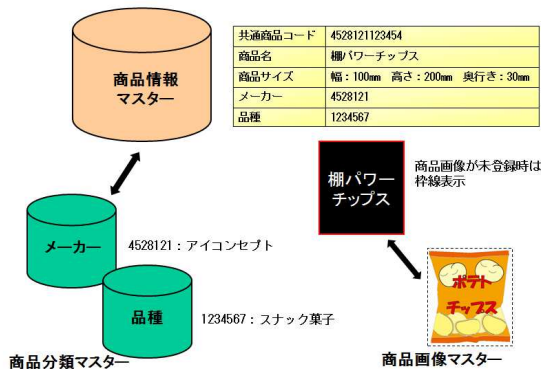
クイックアクセスツールバー (QAT) に登録する場合は、登録したい機能にマウスカーソルを合わせます。

左図のように「基本情報」を右クリック後、「クイックアクセスツールバー (QAT) に追加」をクリックします。選択した機能が追加されます。



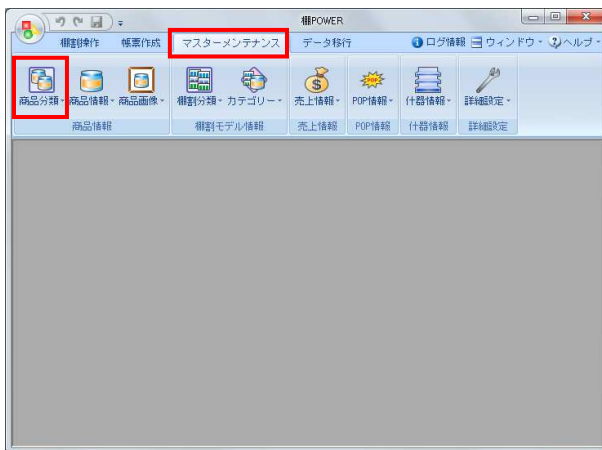
■マスターの概要とカテゴリ登録

各マスター概要



1. 棚POWERで棚割編集作業を行なうためには、左図のように各マスターの登録が前提となります。

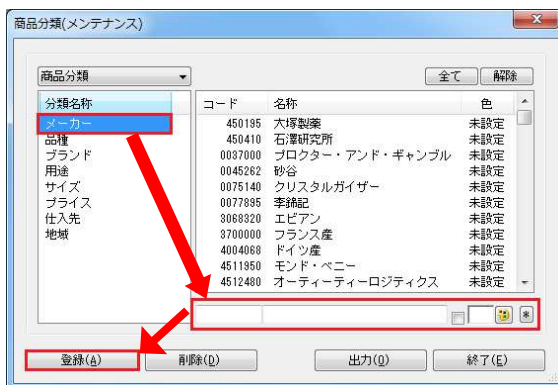
※マスターとは、「商品分類」「商品情報」「商品画像」など棚割を作成するために必要なデータを指します。



2. 商品分類について確認します。
[マスターメンテナンス] - [商品分類] をクリックします。

商品を陳列する際に、「メーカーや品種から商品を絞り込む」、「品種別に商品のゾーニングを確認する」など、棚POWERでは分類を切り口に商品情報を扱います。

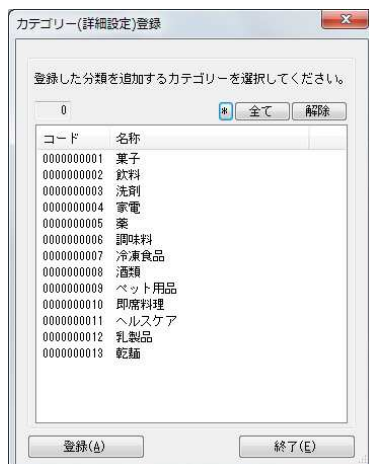
この分類を管理するのが商品分類マスターです。



3. 左側の分類名称を選択すると、右側に登録されている分類の一覧が表示されます。
(※分類の登録がない場合には一覧には何も表示されません)

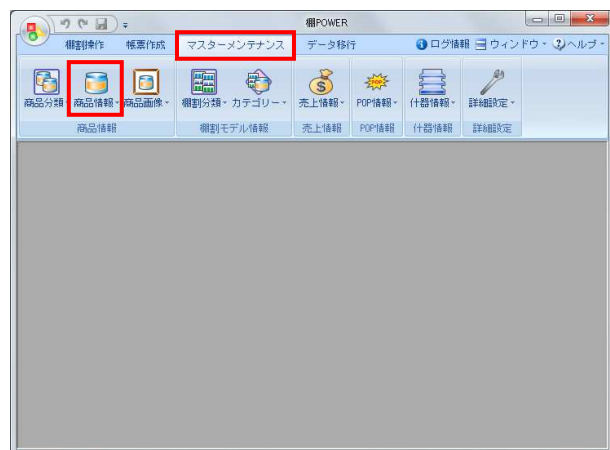
新たに分類を追加したい場合は、分類名称を選択後、画面右下のテキストボックスに「コード」と「名称」を入力して「登録」をクリックします。

※商品分類と商品情報を紐付けるためには、商品情報の登録前に商品分類を登録しておく必要があります。



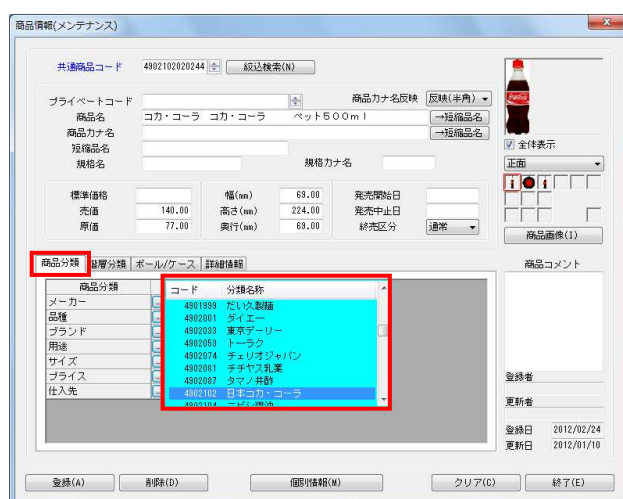
※[棚POWERボタン] - [その他設定] より、「商品分類登録時、カテゴリへの登録も行う」を有効にしていると、商品分類登録時に左図「カテゴリ（詳細設定）登録」画面が表示されます。

新規登録した商品分類を含めたいカテゴリを選択して、「登録」を実行すると、カテゴリグループにも追加登録することができます。



4. 商品情報について確認します。
 [マスターメンテナンス] - [商品情報] をクリックします。

棚POWERでは一商品につき、様々な情報を登録することができます。



5. 共通商品コード(JANコード)や商品名、商品サイズなど登録したい内容を各項目に入力します。

最後に画面左下の「登録」をクリックすると、商品情報の登録は完了です。

「商品分類」タブからは登録したいメーカーや品種といった分類を選択できます。

カテゴリグループとは

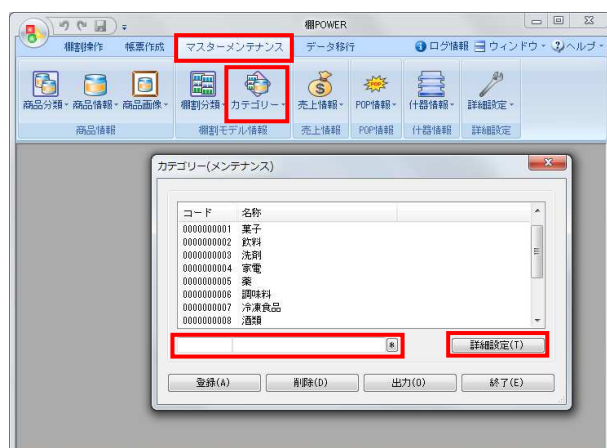
菓子カテゴリ		飲料カテゴリ		ワインカテゴリ	
メーカー	品種	メーカー	品種	原産地	種別
A社	スナック菓子	D社	炭酸飲料	フランス	スパークリング
B社	ガム	E社	日本茶	チリ	白
C社	キャンディ	F社	コーヒー	日本	赤

6. 次にカテゴリグループの登録を行ないます。

棚割を作成する際、陳列する商品の括りをカテゴリグループとして登録します。

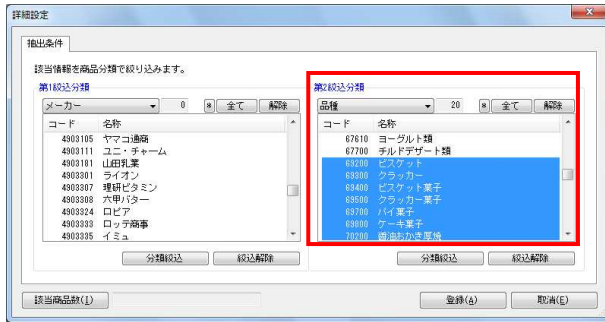
「メーカーと品種」「原産地と味」「ブランドと内容量」の組み合わせなど、登録済みの分類を自由に組み合わせることが可能です。

組み合わせた内容は、棚割編集時の陳列する商品選択の絞込基準となり、陳列したい商品を簡単に探すことが可能になります。



7. カテゴリグループを作成します。
 [マスターメンテナンス] - [カテゴリ] をクリックします。
 [カテゴリ(メンテナンス)] 画面が表示されます。

左側のテキストボックスに10桁までのコードを入力、右側にカテゴリグループの名称を入力して「詳細設定」をクリックします。

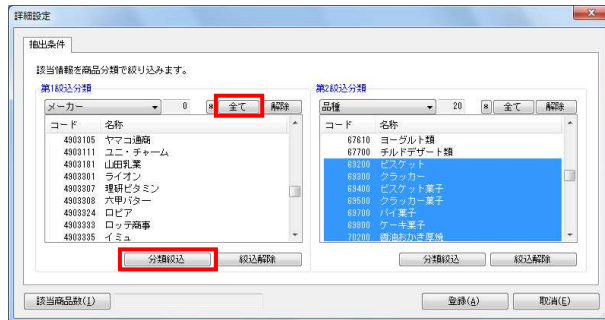


8. 詳細設定画面が表示されます。
指定したカテゴリー内の商品を絞り込むための商品分類を選択します。

例えば、菓子カテゴリーの商品を「メーカー」と「品種」で絞り込みたい場合、左図のように第1絞込分類、第2絞込分類にそれぞれメーカー・品種を選択します。

次に、菓子カテゴリーに紐付く品種を指定するため、第2絞込分類の一覧から該当する菓子の品種を選択します。

Shiftキーを押しながらクリックすることで範囲指定、Ctrlキーを押しながらクリックすることで複数指定が可能です。



9. 品種の選択後、第1絞込分類の「分類絞り」をクリックします。

すると、第2絞込分類で選択した品種を取り扱っているメーカーだけが自動的に絞り込まれます。

絞り込まれたメーカー一覧から、さらに絞り込む場合は品種同様にメーカーを選択します。

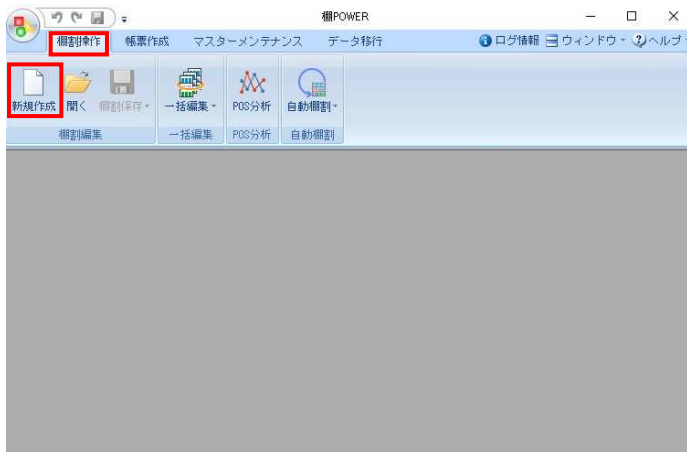
自動的に絞り込まれたメーカーをすべて対象にする場合は、第1絞込分類の「全て」をクリックします。



10. 画面左下の「該当商品数」をクリックすると、選択したメーカー・品種に紐付いている商品数を確認できます。

最後に「登録」をクリックすると、カテゴリーグループの登録が完了します。

■棚割モデルの新規作成

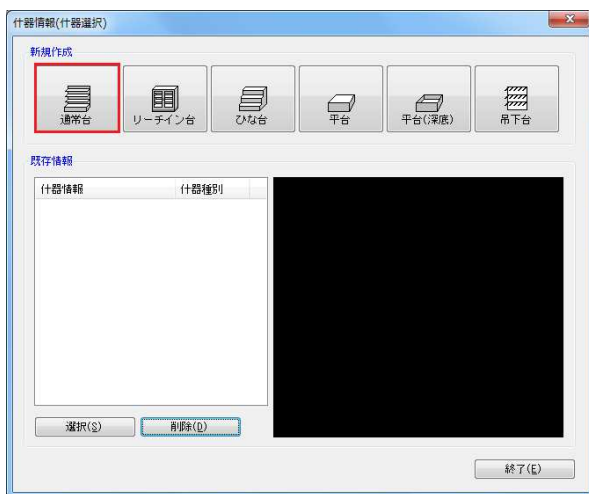


1. 棚POWERでは作成する棚割のことを「棚割モデル」と呼びます。

作成した棚割モデルの再編集や、新規で棚割モデルを作成することができます。

新規で棚割モデルを作成する場合は、[棚割操作] - [新規作成] をクリックします。

本テキストでは新規作成から棚割編集を行なう手順を説明します。



2. [什器情報(什器選択)]画面が表示されます。使用する什器を選択します。

[通常台] をクリックします。
各什器の詳細は下記の通りです。

【通常台】

一般的な1段目に袴があるタイプの什器。

【リーチン台】

通常台に枠と扉を付けた什器。
冷蔵用の棚などに使用します。

【ひな台】

商品を階段状に陳列する什器。
ひな壇陳列を再現する場合に使用します。

【平台】

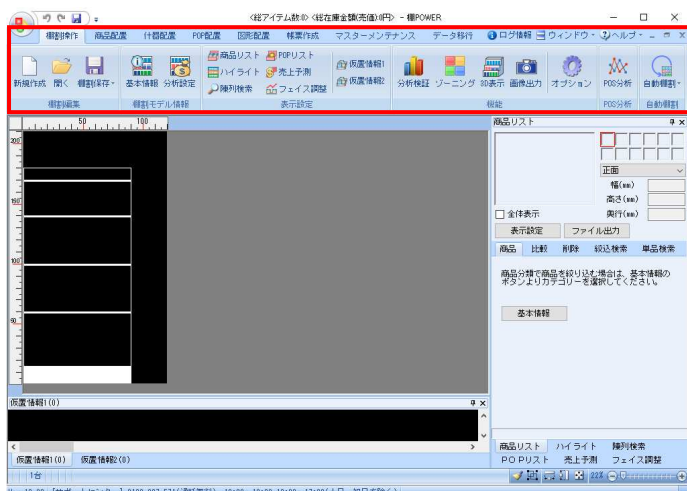
棚板がなく、台の上に商品を置くタイプの什器。
島陳列を再現する場合に活用します。

【平台(深底)】

棚板がなく、台の中に商品を納めるタイプの什器。
冷蔵ケースを再現する場合に活用します。

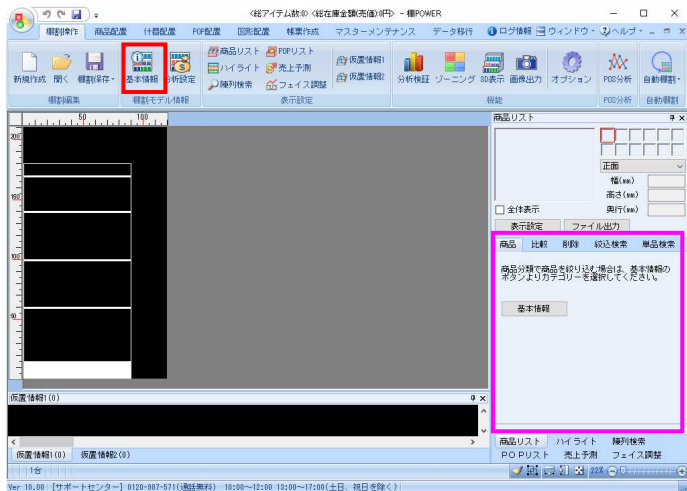
【吊下台】

1段目に袴がないタイプの什器



3. 什器を選択すると棚割編集画面が表示されます。各タブの構成が変わります。

棚割モデルの作成に必要な[商品配置]や[什器配置]といった機能が表示されます。



4. 新規作成の場合、これから作成する棚割モデルがどのような棚割モデルなのかを「基本情報」より登録します。

〔棚割操作〕－〔基本情報〕をクリックします。

【参考】

基本情報内「カテゴリー」の設定が行われていない場合、商品リスト内に左図（ピンク枠）のようにメッセージと「基本情報」ボタンを表示します。こちらの「基本情報」ボタンをクリックすることでも設定できます。



5. 「基本情報」画面が表示されます。各項目を入力します。セレクトボタンをクリックして一覧より選択することも可能です。

【カテゴリー】

どのカテゴリーの棚割モデルなのかを設定します。

【企業/店】

どの企業/どの店舗の棚割モデルなのかを設定します。

【階層分類(大～細)】

企業や店舗を4つの階層に分けて設定できます。

【棚割モデル種別】

実施と提案があり、グループ分けを行ないます。次回棚割モデルを「提案」に、実際に採用した棚割モデルを「実施」として利用するなどのルール付けを行なって管理できます。

【展開時期】

作成する棚割モデルの展開時期をプルダウンメニューより選択します。

【展開開始/展開終了】

作成する棚割モデルの展開する開始日や終了日を入力します。日付をキーボードで直接入力するか、《年/月/日》をクリックしてパソコンの日付を設定することができます。

【棚割モデル名称/作成者氏名】

棚割モデルの名称や作成者の氏名を入力して管理します。

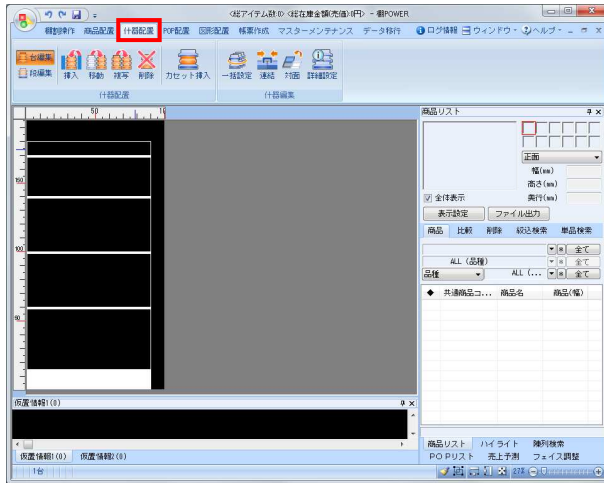
【作成日付】

棚割モデルがいつ作成されたのかを登録します。日付をキーボードで直接入力するか、《年/月/日》をクリックしてパソコンの日付を設定することができます。

※基本情報の登録は必須ではありません。

基本情報を登録していない場合でも棚割編集を行なうことは可能です。

各項目設定後に「設定」をクリックします。

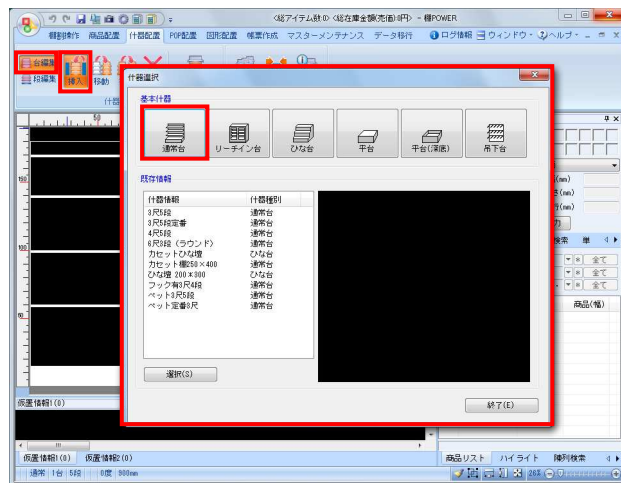


6. 商品を陳列する前に、什器の編集を行ないます。
[什器配置]タブをクリックします。

[什器配置]タブ内には什器の編集に関する機能が集約されています。



7. 左端の「台編集」「段編集」のアイコンから、台を編集するのか、段(棚)を編集するのかを決定します。



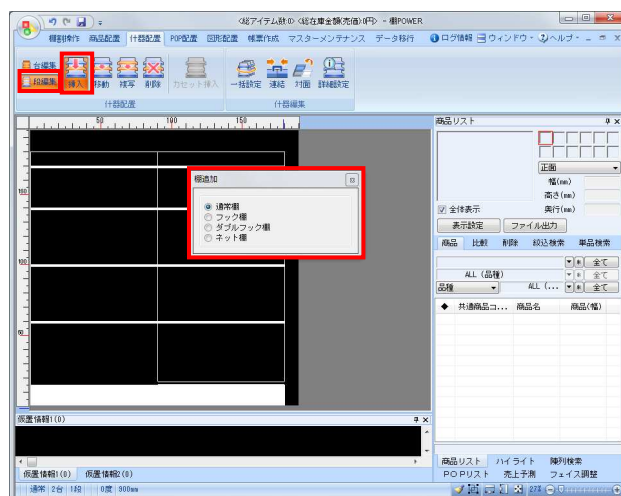
8. 新たに台を挿入する場合は、[台編集] - [挿入] から挿入する什器を選択します。

挿入したい場所でクリックすると、台が追加されます。

例えば、もう一台通常台を追加する場合は什器選択画面より「通常台」をクリックします。その後、台を挿入したい場所でクリックすると通常台が追加されます。

※台の移動や複写・削除も「台編集」を有効にして操作する必要があります。

※1台ずつ複写・削除することもできますが
まとめて複写・削除したい場合は、什器をドラックして複数選択すると、まとめて複写・削除が可能です。



9. 新たに棚を挿入したい場合は、[段編集] - [挿入] から棚の種類を選択します。

挿入する棚は、
「通常棚」「フック棚」「ダブルフック棚」「ネット棚」より選択可能です。

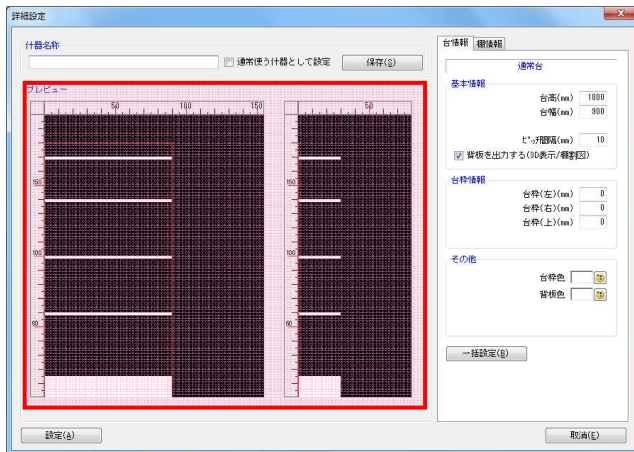
挿入したい場所でクリックすると、棚が追加されます。

※棚の移動や複写、削除も「段編集」を有効にして操作する必要があります。



10. 「挿入」「移動」「複写」「削除」の機能を活用することで基本的な什器編集が可能です。什器の細かな設定は「詳細設定」から調整します。

〔什器配置〕－〔詳細設定〕を選択して、編集したい什器をクリックします。

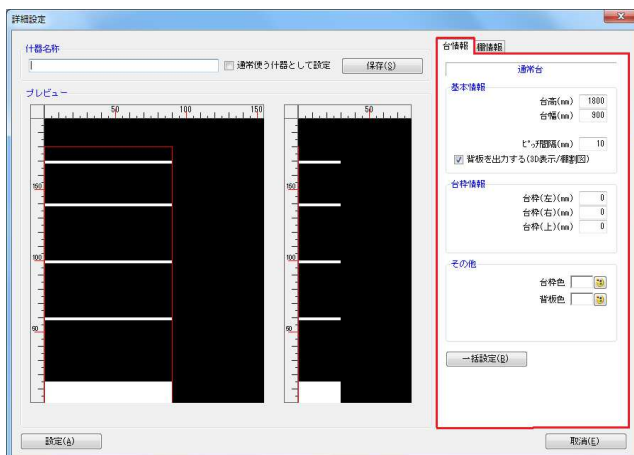


11. 〔詳細設定〕画面が表示されます。画面左側には什器のプレビュー画面が表示されます。

プレビューよりマウス操作で什器を編集することが可能です。

例えば、台幅を変更したい場合、台の右端にある赤線にマウスカーソルを合わせるとアイコンの形状(左右の矢印)が変化します。

形状の変化を確認後にクリックします。変更したい位置で再度クリックすると台幅の変更が完了します。同じ手順で台高や棚高の変更も可能です。



12. 詳細設定画面右には台の高さや幅が数値で表示されます。この数値を変更して什器のサイズを変更することもできます。

〔台情報〕では、台全体のデータが表示されます。台幅を変更する場合、「台幅」の項目に数値を入力します。

入力後にEnterキーを押すとプレビューに反映されます。

【基本情報】

・台高

台の高さを数値を直接入力して変更します。

・台幅

台の幅を数値を直接入力して変更します。

・ピッチ間隔

棚を移動する間隔の基準値を入力します。

・背板を出力する(3D表示/棚割図)

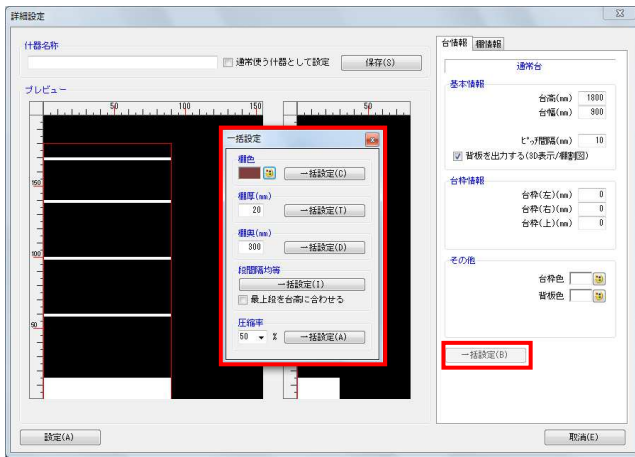
チェックを入れると3D表示や棚割図を出力する場合に背板を含めて出力されます。

【台枠情報】

台枠がある什器を再現する際に、数値を入力して台枠の厚さを設定します。

【その他】

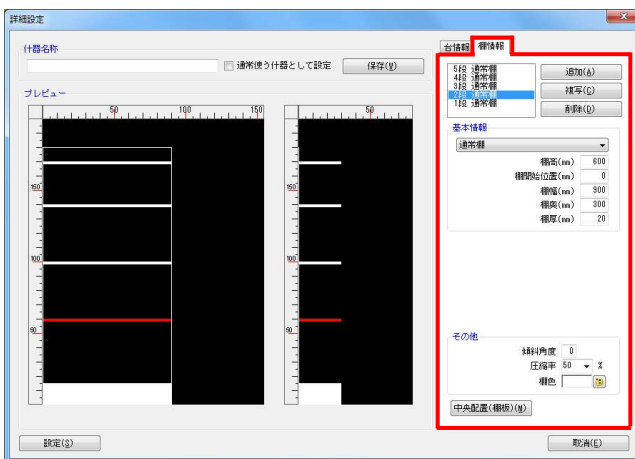
台枠や背板の色を決定します。ペイントアイコンより色の選択が可能です。



13. 画面下にある「一括設定」から、段間隔均等や奥行の統一、棚色の指定などを一括処理することも可能です。

例えば、段の間隔を均等にする場合は一括設定の段間隔均等で「一括設定」をクリックします。
一括設定実行後、各段の高さが均等になります。

※「最上段を台高に合わせる」を有効にしている場合は、最上段の棚高を、台高に合わせた上で各段の棚高を均等にします。



14. 「棚情報」では各段の棚高や棚幅が表示されます。

編集したい棚を選択します。
選択した棚高を変更する場合は、「棚高」の項目に数値を入力します。

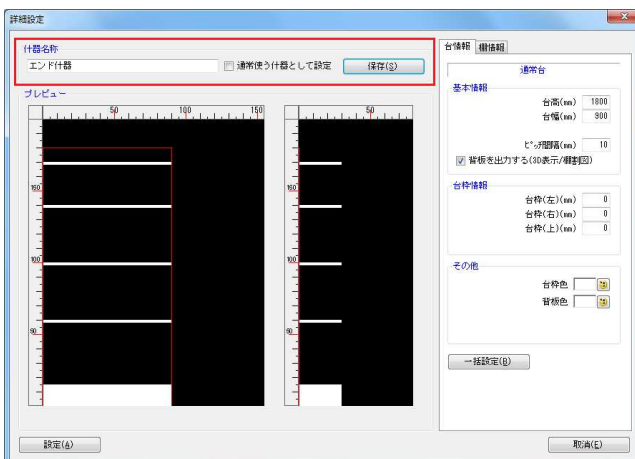
【基本情報】

「棚高」「棚開始位置」「棚幅」「棚奥」「棚厚」の項目に数値を入力します。数値入力後にEnterキーを押下するとプレビューに反映します。

【その他】

「傾斜角度」「圧縮率」「棚色」の設定を行いません。

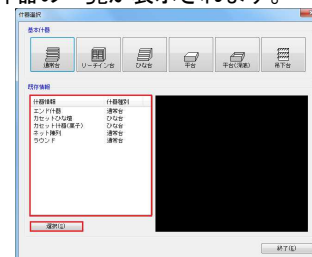
- ※ 下段から1段目としてカウントします。
- ※ 傾斜角度は3D表示で確認できます。
- ※ 圧縮率は圧縮陳列を再現する場合に設定します。



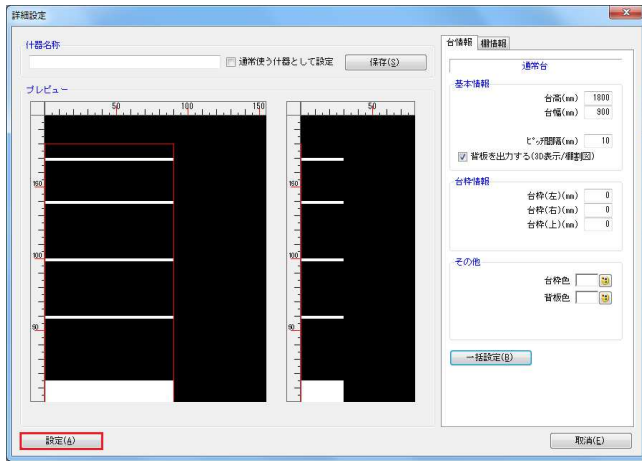
15. 設定した仕器を仕器マスターに登録できます。
仕器マスターへ登録することで毎回仕器を設定する手間を省略することができます。

画面上部にある「仕器名称」に仕器の名称を入力して、「保存」をクリックします。

※保存すると仕器選択画面の「既存情報」に登録した仕器の一覧が表示されます。

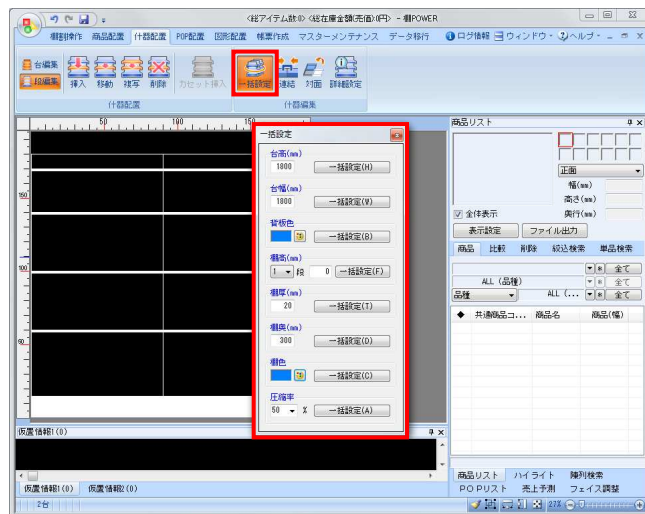


仕器マスターに登録した仕器を挿入する場合は、「既存情報」より挿入する仕器を選択します。



16. 各設定完了後、画面左下にある「設定」をクリックします。

設定内容が反映されます。



17. 一括設定では、全台を対象に什物の編集を一括で実行することが可能です。

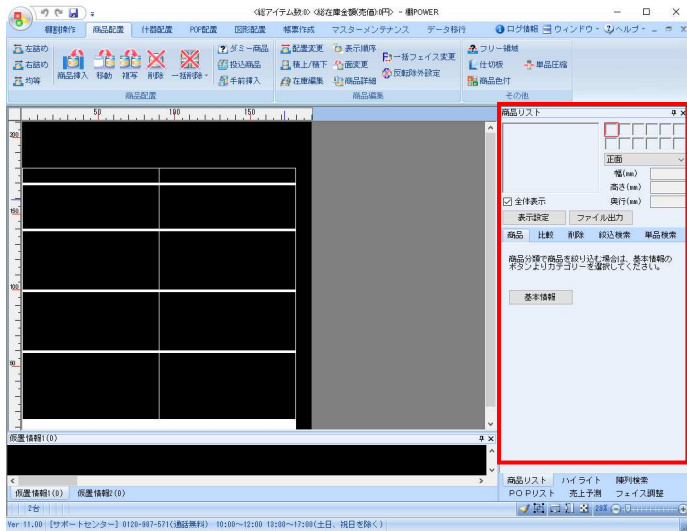
「什物配置」－「一括設定」をクリックします。

「棚色」「背板色」はペイントアイコンから色選択を、「台高」「台幅」「棚厚」「棚奥」は数値を入力します。「棚高」では棚高を変更する段を選択して、数値を入力します。

（「圧縮率」は圧縮陳列を再現する場合に設定します）

設定後、各項目の「一括設定」をクリックすると全台を対象に設定内容が反映されます。

■商品の陳列



1. 商品の陳列を行ないます。

「商品配置」タブに、商品の配置に関する機能が集約されています。

棚割編集画面の右側には商品リストが表示されます。この商品リストより陳列する商品を選択します。



2. 「商品リスト」－「商品」には、基本情報で設定したカテゴリーに登録されている商品分類が表示されます。今回はメーカーと品種が表示されています。

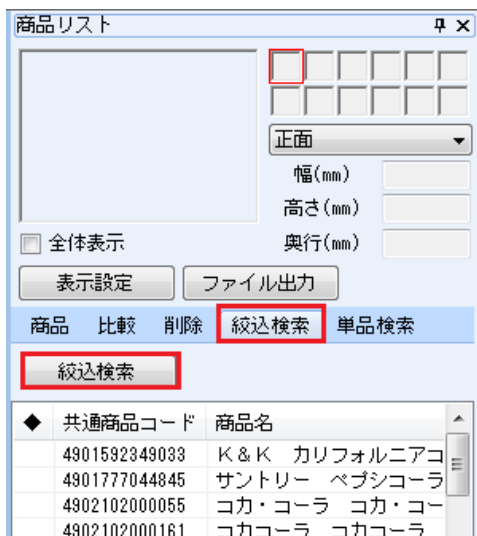
※カテゴリーの設定は「基本情報」で行ないます。
(詳細はP. 6を参照してください)

商品分類を指定して絞り込むことにより、商品選択が容易になります。

商品リストの「▼」ボタンをクリックして、一覧からメーカーや品種などを選択し、条件を絞り込みます。

全メーカーの1品種というように表示させたり、1メーカーの全品種を表示させたりすることが可能です。

※「商品」タブには、カテゴリーに登録されている商品だけが表示されます。

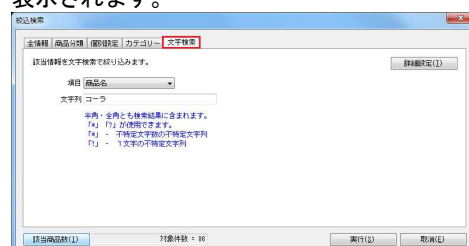


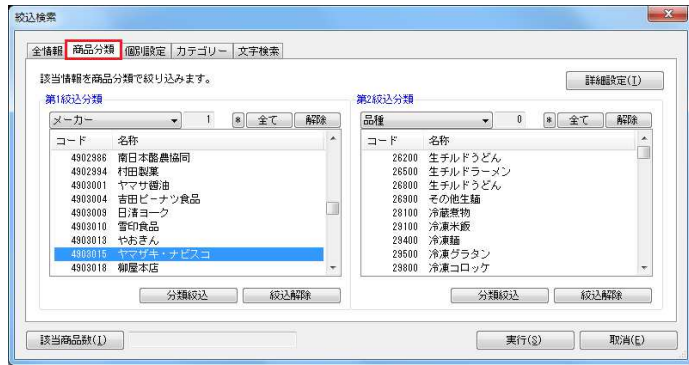
3. 「絞り込」タブからは、全商品から条件を指定して商品を絞り込みます。

検索する文字列を入力して該当する商品の絞り込みを実行すると、該当商品が商品リストに表示されます。

例えば、「文字検索」タブより、項目を「商品名」にして文字列に「コーラ」と入力します。

左下の「該当商品数」をクリックして実行すると商品名に「コーラ」という文字が含まれる商品が全て商品リストに表示されます。





4. その他にも全登録商品を商品リストに表示させることや、特定メーカーの商品だけを商品リストに表示させることも可能です。

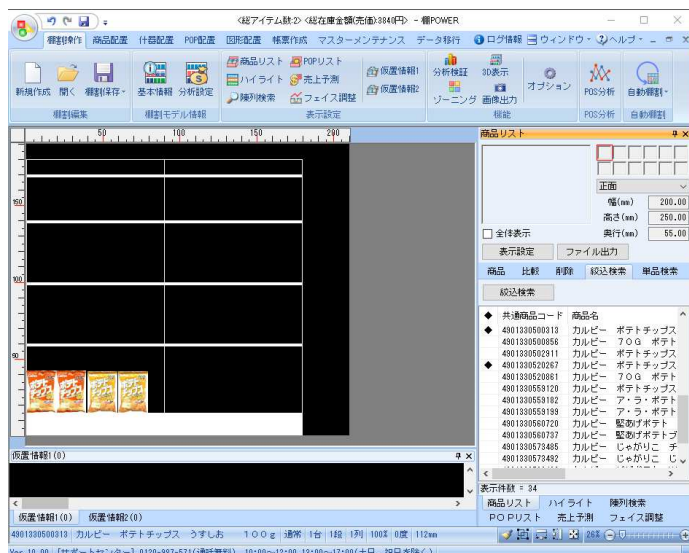
例えば、特定メーカーの商品だけを反映させる場合は、**「商品分類」** タブを選択して表示させたいメーカーを選択します。

左下の**「該当商品数」**で登録件数確認後、**「実行」**をクリックします。選択したメーカーに登録されている商品のみ商品リストに表示させることができます。



5. また、**「単品検索」** タブから挿入したい商品のJANコードやプライベートコードを入力して特定の商品を検索することも可能です。

「共通商品コード」欄にJANコードを13桁(または8桁など)入力します。Enterキーを押下すると登録商品を読み出すことができます。

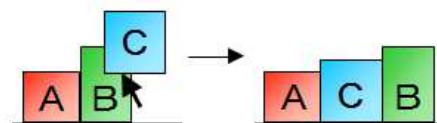


6. 商品の挿入を行ないます。商品リストより陳列したい商品を選択して棚の陳列したい場所でクリックします。

商品リストから陳列する商品をCtrlキーやShiftキーを押しながら、複数選択後、棚内でクリックして複数商品をまとめて陳列することもできます。

※商品リストから陳列したい商品を選択すると、自動的に**「商品配置」** - **「商品挿入」** が選択された状態になります。

陳列済の商品と商品の間に、新たな商品を挿入したい場合は、挿入したい場所の右側にある商品をクリックすると、間に陳列することができます。





7. 商品配置方法は「左詰め」「右詰め」「均等」「自由」から選択可能です。

【左詰め】

棚のどの位置でクリックしても左詰で商品を陳列します。

【右詰め】

棚のどの位置でクリックしても右詰で商品を陳列します。

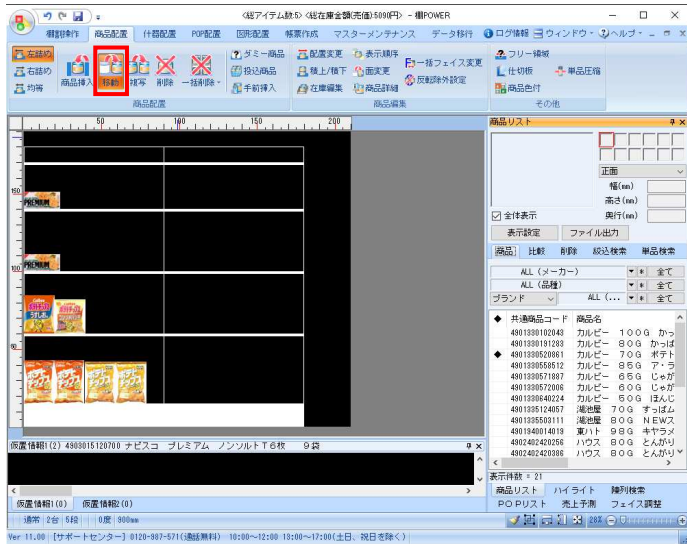
【均等】

陳列する商品の間隔を均等にして陳列します。

【自由】

クリックした場所に商品を陳列します。
挿入方法が全て無効の状態が自由配置になります。

※挿入方法が有効になっているとオレンジ色になります。
再度クリックすると無効になります。
※陳列済みの商品も含め左詰め/右詰めに移動できます。
詳細はP. 23 (オプション設定) をご参照ください。

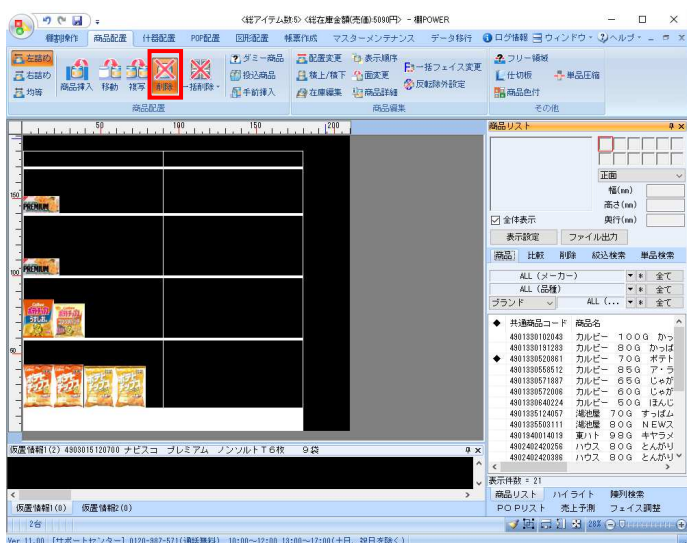


8. 棚に陳列した商品を移動します。
[商品配置] - [移動] を選択して、棚内の移動したい商品をクリックします。移動したい場所で再度クリックすると陳列する商品の位置を変更できます。

商品の複写も手順は同じです。

[商品配置] - [複写] を選択して、棚内の複写したい商品をクリックします。複写したい場所で、再度クリックすると商品の複写ができます。

※ドラッグ（範囲選択）することで、複数商品をまとめて移動/複写することも可能です。



9. 陳列した商品の削除を行ないます。
[商品配置] - [削除] を選択して削除したい商品をクリックします。

※ドラッグ（範囲選択）することで、複数商品をまとめて削除することも可能です。

開いている棚割モデル内に陳列している商品やPOPを、一括・または指定して削除したい場合は、[商品配置] - [一括削除] をクリックすると、まとめて削除ができます。



【指定商品削除】の場合は、「共通商品コード」を表示したリスト内に入力し、[実行] をクリックするとリスト内の商品をまとめて削除します。

【全商品削除】の場合は、[実行] をクリックすると、全商品を一括で削除します。

10. 棚割編集画面の表示が大きい場合や小さい場合は表示サイズを変更することで、スムーズに棚割編集を行なえます。

画面右下の表示解像度を変更します。



「+」や「-」ボタンや、バーを移動して表示解像度の調整を行ないます。また、「%」が表示されている箇所をクリックして、表示倍率を選択したり直接入力して調整することも可能です。



【自動調整】

棚割編集画面内にすべて収まるように表示されます。



【棚高基準】

什器の高さに合わせて、棚割編集画面内に収まるように表示されます。



【棚幅基準】

什器の幅に合わせて、棚割編集画面内に収まるように表示されます。

11. 画面上部のクイックアクセスツールバー (QAT) 内には、「元に戻す(アンドウ)」、「やり直す(リドゥ)」機能があります。

一つ前の作業に戻りたい場合は、左向き矢印アイコンの「元に戻す」をクリックします。最大20回前の作業まで戻すことが可能です。

「元に戻す」を実行後、実行前の状態にしたい場合は、右向き矢印アイコンの「やり直す」をクリックします。

12. 商品の陳列や削除を繰り返していると商品の配置が乱れてきます。[配置変更]を使用して商品の配置位置を変更することができます。

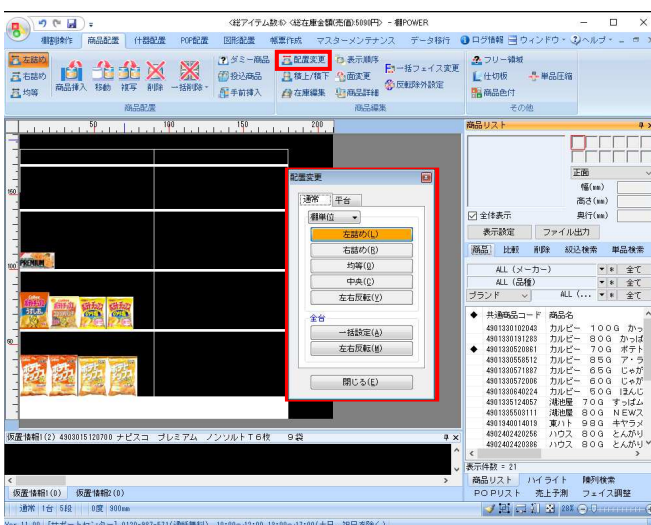
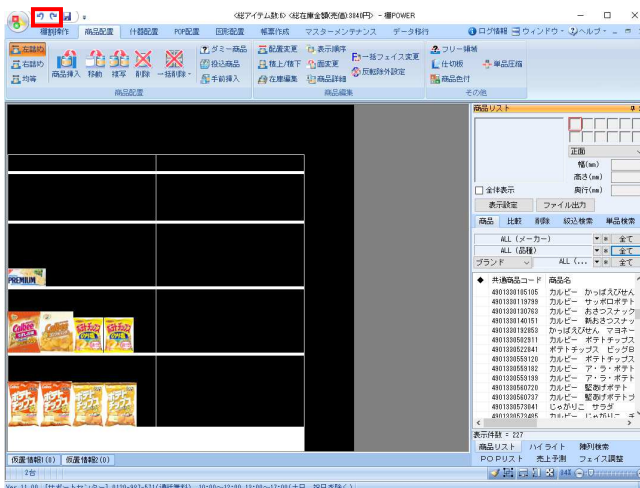
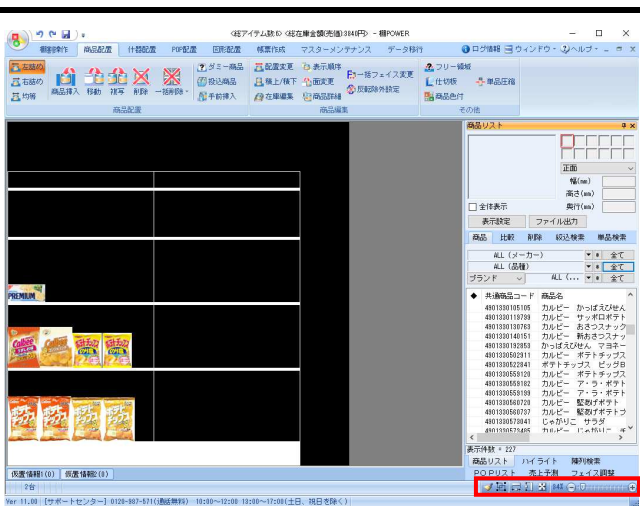
「棚単位」・「台単位」・「選択範囲」から商品の配置位置を変更する範囲を選択できます。

棚単位で変更する場合はプルダウンメニューより「棚単位」を選択します。「左詰め」や「右詰め」「均等」など変更したい配置機能を選択し、配置位置を変更したい棚上でクリックします。

「選択範囲」を選択し配置機能を選択後、商品をドラッグ（範囲選択）すると、選択商品のみ配置変更できます。

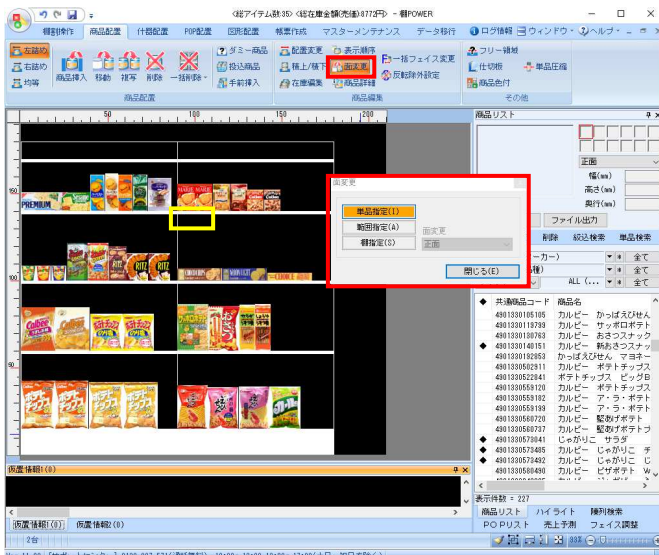
全台まとめて配置変更したい場合は、「一括設定」をクリックすると全台を対象に商品の配置変更ができます。

※商品の陳列完了後、棚内の商品を全て均等に配置したい場合は、「均等」を選択の上「一括設定」を実行すると全商品の陳列間隔が統一されます。



13. 陳列済みの商品の陳列面を変更するには、「面変更」を活用します。

「商品配置」－「面変更」をクリックします。
1商品ずつ変更する場合は「単品指定」を選択して、
陳列面を変更したい商品をクリックします。

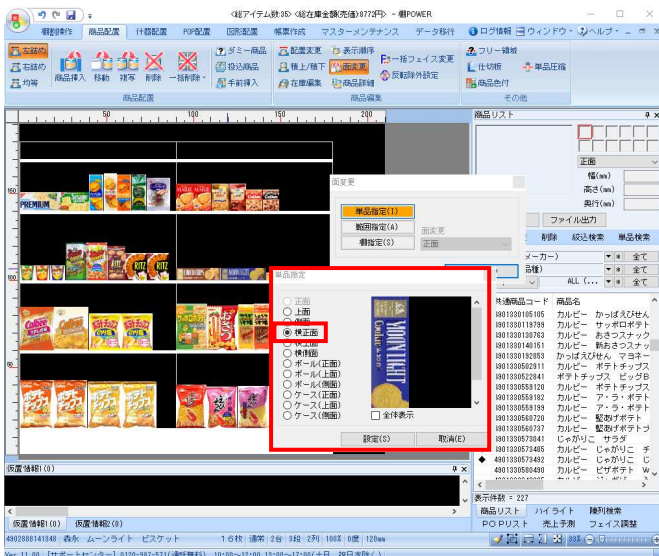


14. 「単品指定」画面が表示されます。
変更したい陳列面を選択して「設定」をクリックすると、
選択した商品の陳列面が変更されます。

単品以外にも、「範囲指定」や「棚指定」が可能です。

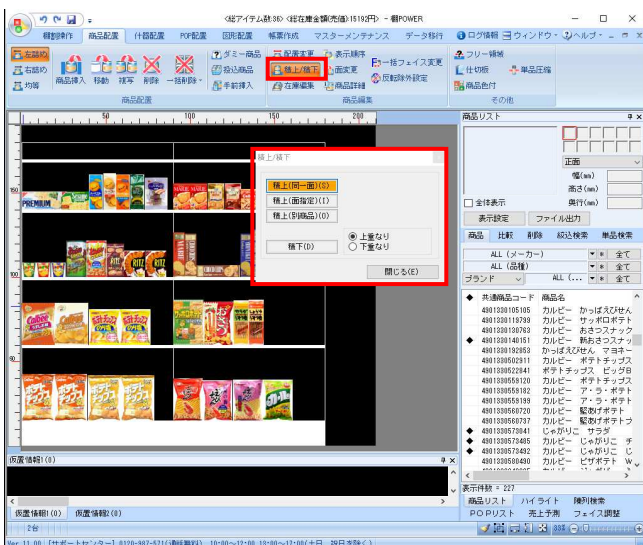
「範囲指定」
複数商品をドラッグして範囲選択し、陳列面を一括変更できます。

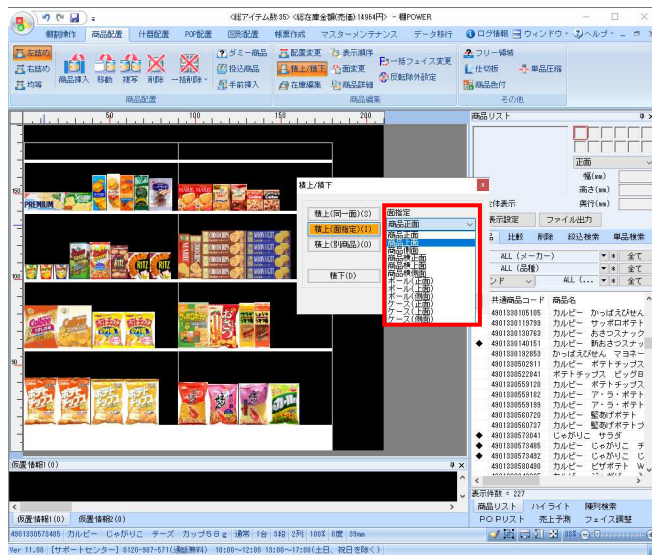
「棚指定」
各棚に陳列している商品の陳列面を一括変更できます。



15. 商品の積上げを行ないます。
「商品配置」－「積上/積下」をクリックします。
陳列している商品と同じ商品の同一面を積上げる場合は、
「積上（同一面）」をクリックして、積上げたい商品をクリックします。

ドラッグすると複数商品をまとめて積上げできます。





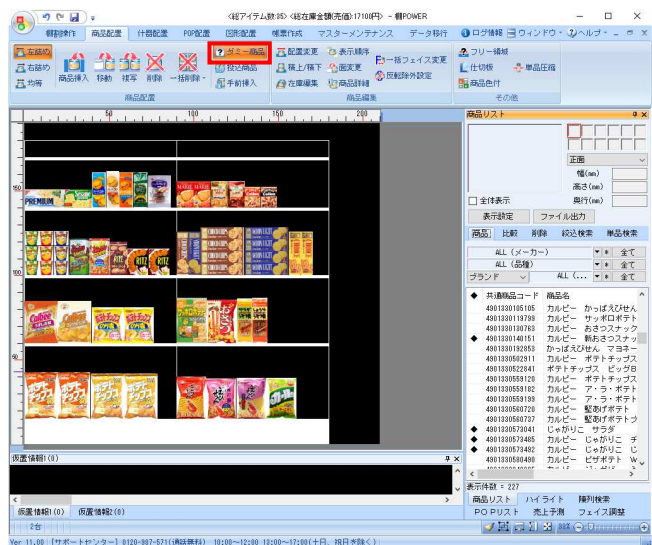
16. 陳列している商品と同商品の別の面を積上げる場合は、
「積上（面指定）」をクリックします。

面指定の項目より積上げたい面を選択します。
積上げたい商品の上でクリック、もしくはドラッグすると
別の面を積上げることができます。



- ※陳列商品とは別の商品を積上げることも可能です。
「積上（別商品）」をクリックし、モード選択します。
積上する商品を選択し、積上げたい商品の上でクリック
することで積上できます

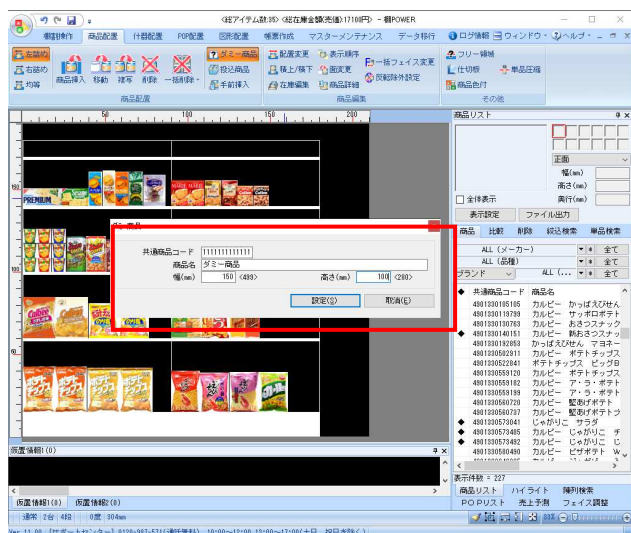
挿入 : 商品リストより積上する商品を選択します
複写/移動 : 商品リストもしくは陳列商品の中から積上
する商品を選択します
編集 : 既に別商品積上している商品をクリックし
て、積上の上下(順番)を編集することがで
きます。



17. 「ダミー商品」では商品マスターに登録されていない
商品を仮の商品として棚に陳列することが可能です。

例えば、正式に登録するには情報の足りない新商品や、
他社の商品などをダミーの商品として一時的に陳列する
場合に使用します。

「商品配置」－「ダミー商品」を選択して、
ダミー商品を陳列したい場所でクリックします。



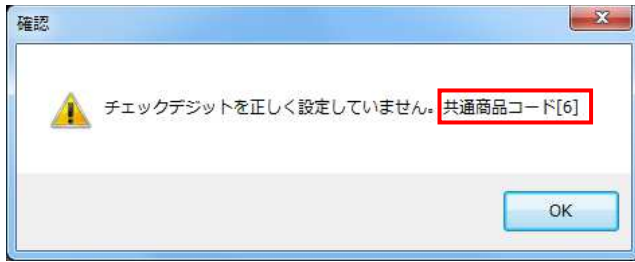
18. 「ダミー商品」の設定画面が表示されます。

「共通商品コード」「商品名」「幅」「高さ」を
入力して「設定」をクリックします。

商品の正式なJANコードが判っている場合は、
正式なJANコードを入力します。

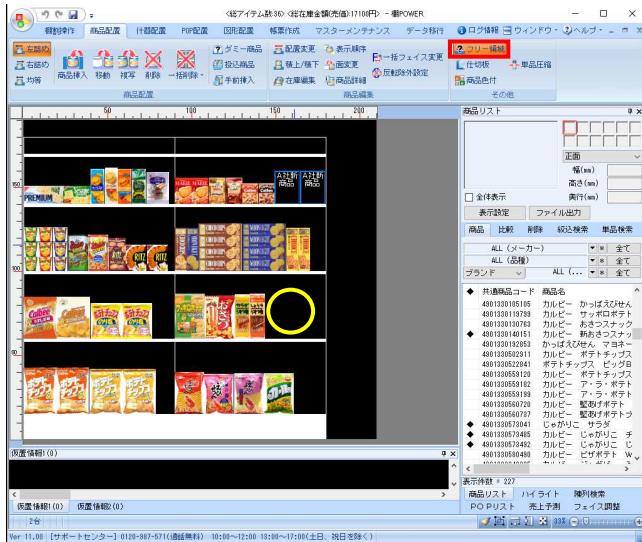
正式なJANコードであれば、ダミー商品陳列後に
商品情報を登録すると自動的にダミー商品から
正式な商品に置き換わります。

JANコードが不明な場合は、任意の数字で設定可能です。



19. 入力したJANコードが正しくない場合や任意の数字を設定した場合にチェックデジットエラーが発生します。確認画面の末尾に表示している数値を13桁目に入力し直して再設定します。

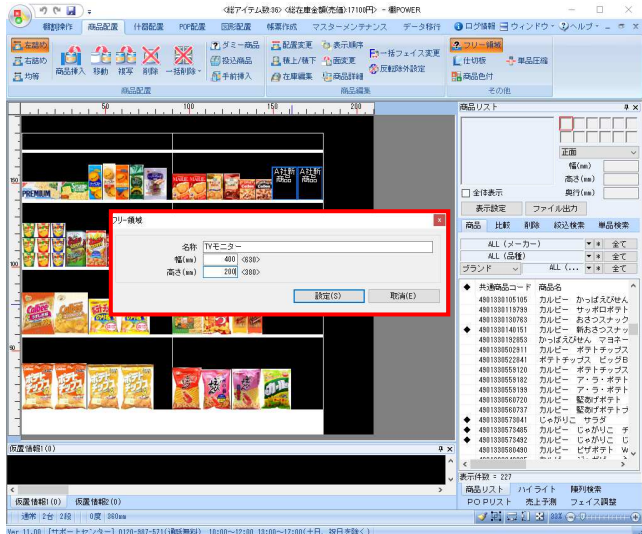
例えば左図のように「共通商品コード[6]」と表示した場合は、13桁目に「6」を入力し直します。
(例. 「1111111111111」から「1111111111116」へ変更)



20. 「フリー領域」を活用して棚内に商品を陳列しない領域を確保することが可能です。

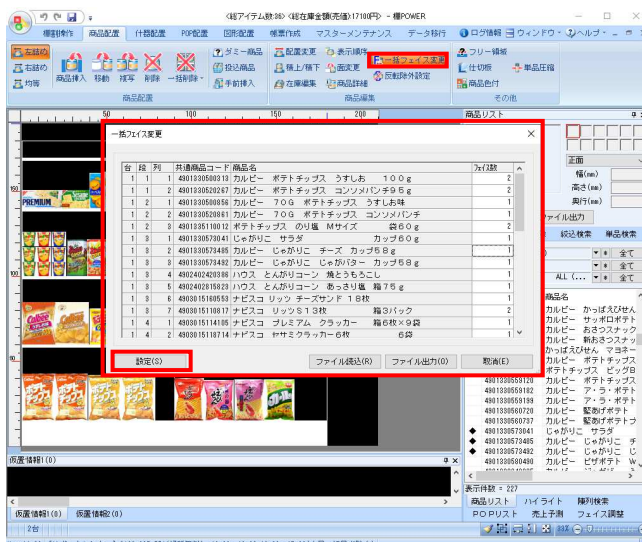
例えば、広告用のモニターや販促物を置くスペースを確保する場合に「フリー領域」を使用します。

〔商品配置〕－〔フリー領域〕を選択して、領域を確保したい場所をクリックします。



21. 〔フリー領域〕の設定画面が表示されます。

「名称」「幅」「高さ」を入力して〔設定〕をクリックします。棚にフリー領域が作成されます。



22. 既に陳列済み商品のフェイス数を一括で変更ができます。

〔商品配置〕－〔一括フェイス変更〕を選択します。各商品のフェイス数を変更し、〔設定〕をクリックします。

ファイル上でフェイス数を編集したい場合は、〔ファイル出力〕をクリックし、ファイル出力します。

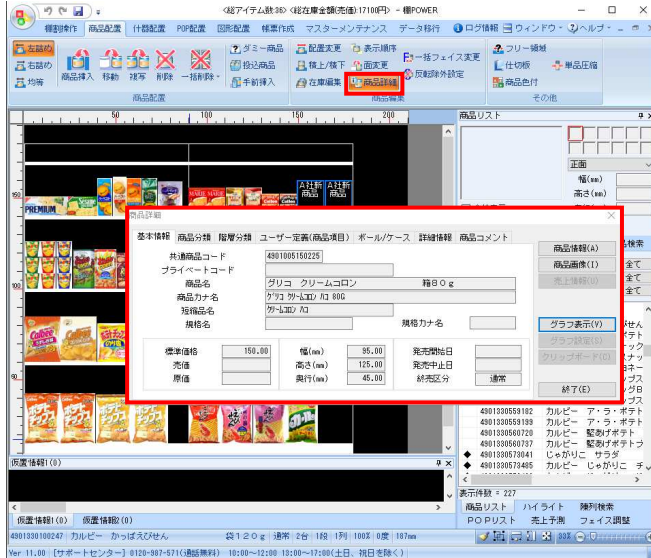
ファイル編集後は〔ファイル読込〕を選択し、編集したファイルをクリック、〔開く〕を選択します。反映した内容を確認し、〔設定〕をクリックします。

23. 商品の登録状況を確認します。

〔商品配置〕－〔商品詳細〕を選択して登録状況を確認したい商品をクリックします。

〔商品詳細〕画面より商品情報の登録状況を確認することができます。

さらに商品詳細画面内の〔商品情報〕をクリックすると、商品情報のメンテナンス画面を表示できます。



24. 〔商品色付〕の機能を使って、棚に並んでいる商品に色を付けることが可能です。 例えば、棚落ちする商品に色を付けたり、分類の登録をせずに特定商品に色を付けるときなどに使用します。

〔商品配置〕－〔商品色付〕をクリックします。
〔色付設定〕を選択し、任意の商品をクリックします。

色付を解除したい場合は、〔色付設定解除〕を選択し、商品をクリックすると解除されます。

〔ファイル読込〕では、あらかじめ用意したファイル内の情報を読み込んで特定商品に色を付けることができます。

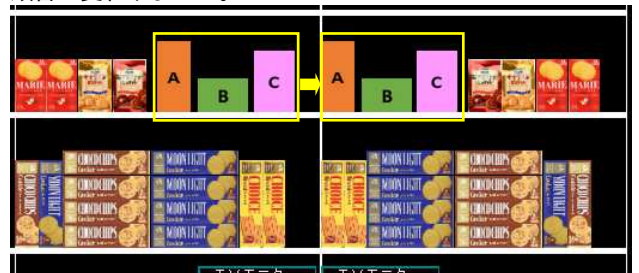
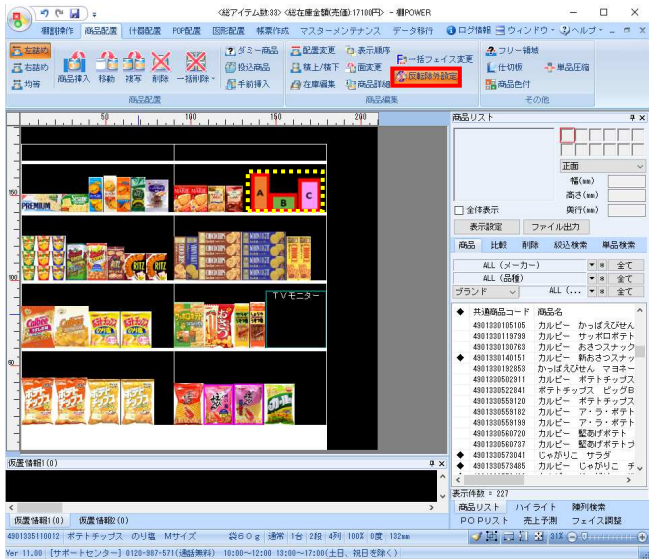
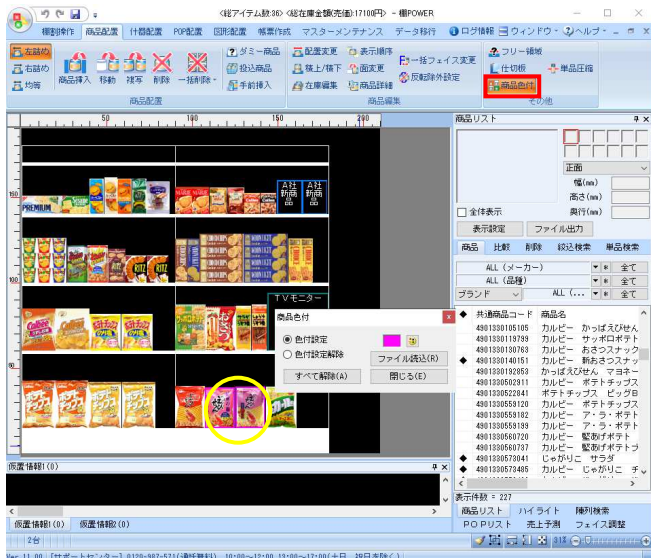
〔ファイル読込〕を選択後、用意したファイルをクリックし、〔開く〕を選択します。ファイル内の情報を読み込んで、色を付けます。（用意するファイル上には、〔共通商品コード〕〔色〕と列を分けて項目を入力し、それぞれの欄に情報を記載します。）

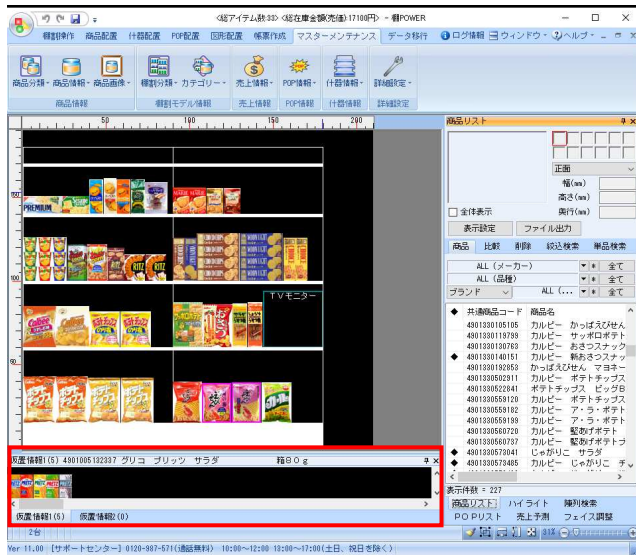
25. シャンプー、リンス、ヘアマスクなど同じブランドの商品で商品の陳列順が決まっている場合、〔反転除外設定〕を利用して、什器を反転しても商品の陳列順が変わらないように設定できます。

〔商品配置〕－〔反転除外設定〕を選択します。

ひとまとめにしたい商品をマウスで囲み、反転除外対象の商品として登録します。

反転除外設定を行った商品は、什器を左右反転しても順番が変わりません。

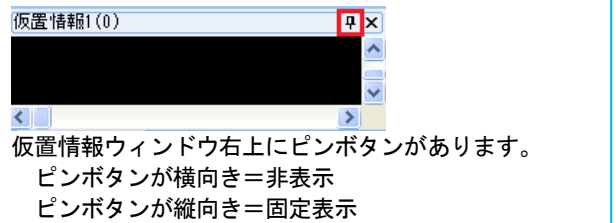




26. 棚割編集画面の下に仮置情報が表示されています。非表示の場合は「棚割操作」－「仮置情報 1, 2」をクリックします。

棚以外の場所に商品を一時的に並べる場合に仮置情報を活用します。

仮置情報には「1」と「2」があるため、それぞれに陳列候補商品やカット候補商品を並べるなどの使い分けが可能です。



27. 仮置情報には、棚や商品リストから商品の挿入や移動、複写ができ、また仮置情報内の商品を棚に移動、複写できます。

例えば、陳列済の商品を仮置情報へ移動する場合、「商品配置」－「移動」を選択して移動したい商品をクリックします。

仮置情報にマウスカーソルを合わせて、再度クリックすると仮置情報へ商品が移動します。

28. Excelファイルなどに記載されているJANコードをコピーし、仮置情報に挿入することも可能です。

商品台帳などのJANコードが記載されているファイルを開き、JANコードをコピーします。

コピー完了後、棚POWERに戻ります。

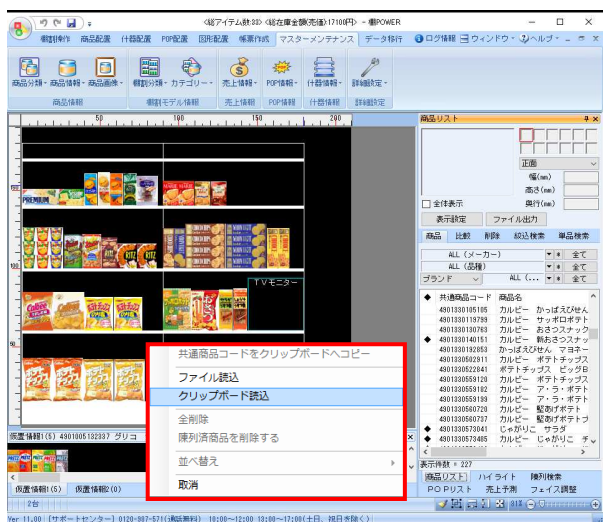


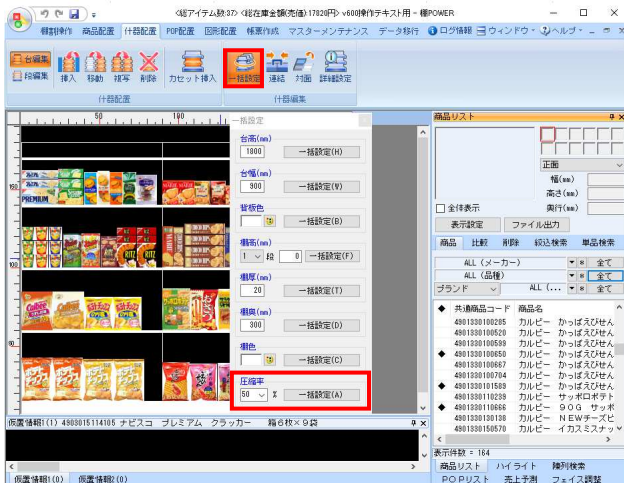
29. コピーしたJANコードの読み込みを行いません。仮置情報ウィンドウ内で右クリックします。

メニューの一覧より「クリップボード読込」をクリックします。コピーしたJANコードの商品が仮置情報に表示されます。

クリップボードからの貼付け以外にもJANコードのみが入力されたExcelやCSVファイルがあれば「ファイル読込」機能を活用して同様に仮置情報に商品を並べることができます。

30. 仮置情報内の商品は、「商品配置」－「移動」もしくは、「複写」を使用して棚に陳列します。





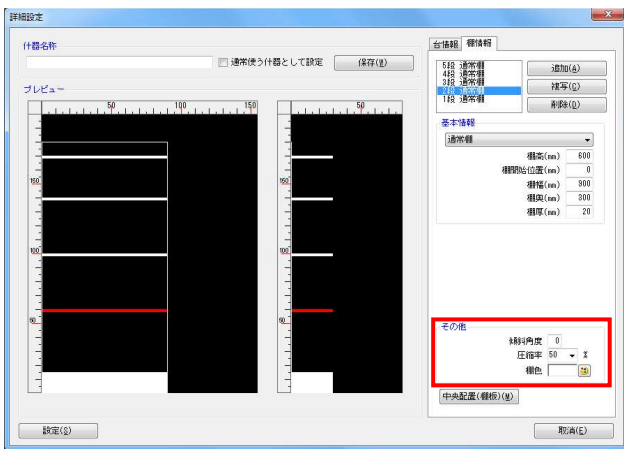
31. 袋物の商品など、商品に圧縮して棚に陳列する圧縮陳列を再現できます。陳列商品をどれだけ圧縮するかは「圧縮率」で設定します。什器や商品に対して圧縮率を設定でき、50%～100%の間で設定できます。

① 什器に対して圧縮率を設定する

「一括設定」より複数台まとめて圧縮率が設定できます

「什器配置」－「一括設定」を開き、圧縮率を設定し「一括設定」をクリックします。

圧縮率が50%では商品の半分の大きさまで、圧縮率が95%では、5%圧縮して商品を95%の大きさで表示できます。



棚割モデルの一部のみ圧縮陳列を行いたい場合は、台や段ごとに圧縮率を設定可能です。

・ 段に対して圧縮率を設定する

「什器配置」－「詳細設定」を開き、[棚情報]タブより圧縮率を設定したい段をクリックし、「その他」にある「圧縮率」を設定します。

・ 台に対して圧縮率を設定する

「什器配置」－「詳細設定」を開き、[台情報]タブの「詳細設定」より全段一括で圧縮率を設定できます。



32. ② 商品に対して圧縮率を設定する

箱物の商品など圧縮しない商品に対して、商品陳列時に圧縮できないように圧縮率を設定できます。

「マスターメンテナンス」－「商品情報(メンテナンス)」を開き、[詳細情報]タブの「圧縮率」を「100%」で設定します。

什器で圧縮できるようになっていても、[商品情報(メンテナンス)]画面で圧縮率が「100%」と設定されていれば、棚に陳列しても圧縮されません。



33. ③ 陳列商品に対して圧縮率を設定する

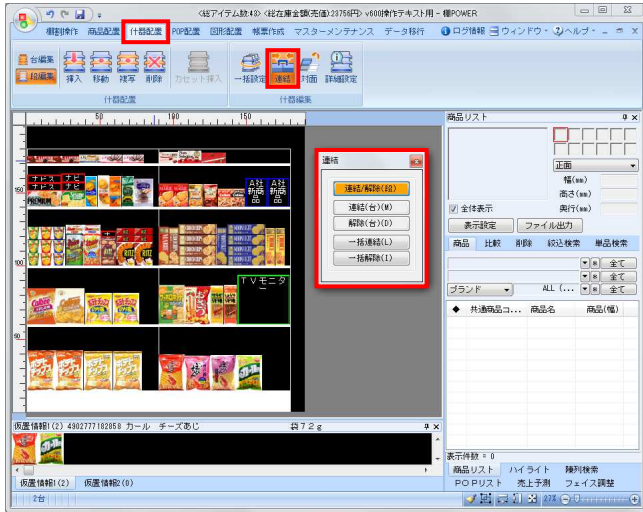
商品そのものでなく、特定の棚割モデルに陳列している商品にのみ圧縮率を指定することもできます。

「商品配置」－「単品圧縮」より「圧縮設定」を選択して圧縮率を設定します。

単品圧縮したい商品をクリックすると、クリックした商品のみ指定の圧縮率で圧縮されます。

「圧縮解除」を選択し、単品圧縮された商品をクリックすると単品圧縮が解除されます。

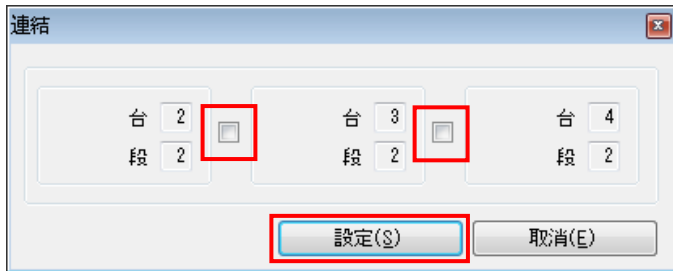
什器・商品・陳列商品全てに圧縮率が設定されている場合「陳列商品の圧縮率」→「商品の圧縮率」→「什器の圧縮率」の順に優先されます。



34. 台と台との仕切りが邪魔になって商品を陳列できない場合は台を連結させることで、間の仕切りをなくし台と台の跨った位置に商品を陳列することができます。

〔什器配置〕－〔連結〕－〔連結/解除(段)〕を選択して、連結させたい棚をクリックします。
(台編集、段編集のどちらでも同じです。)

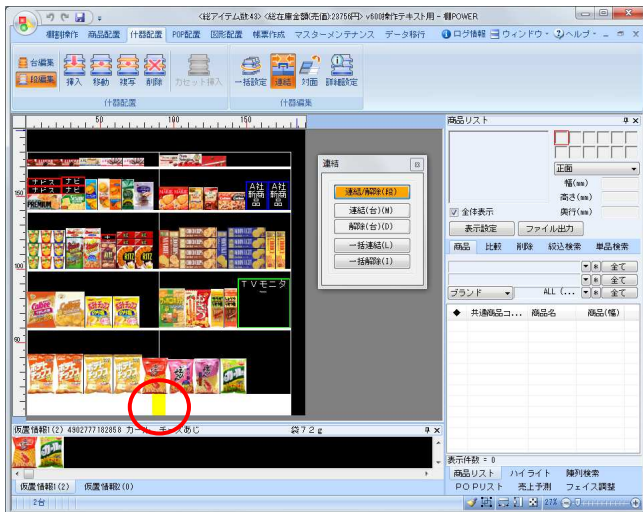
連結可能な棚・台が連絡されます。



35. 隣接している棚が複数連結可能な場合はチェックボックスが表示されます。

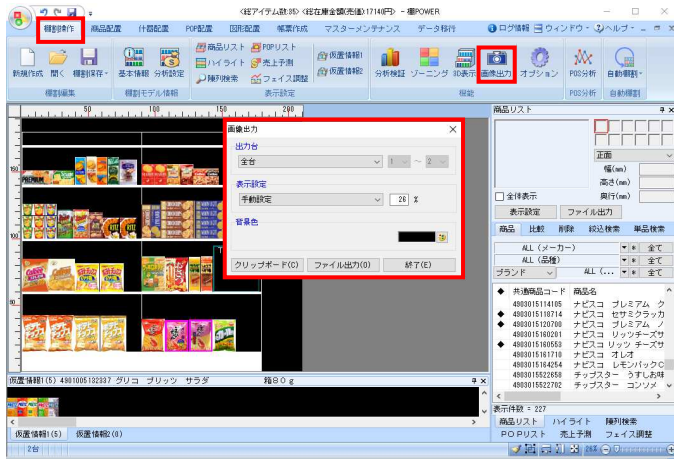
連結したいチェックボックスを有効にして、〔設定〕をクリックします。

※チェックボックスがグレーアウトしている場合は連結できません。連結するには隣接する棚の棚高、棚厚、棚種類が同一である必要があります。



36. 連結すると棚に黄色の印が表示されます。これで台と台に跨った位置への商品陳列が可能になります。

その他、台を指定しての連結や全台に対して一括連結をすることも可能です。



37. 編集した棚割モデルの画面をクリップボード出力や画像ファイルとして出力することができます。

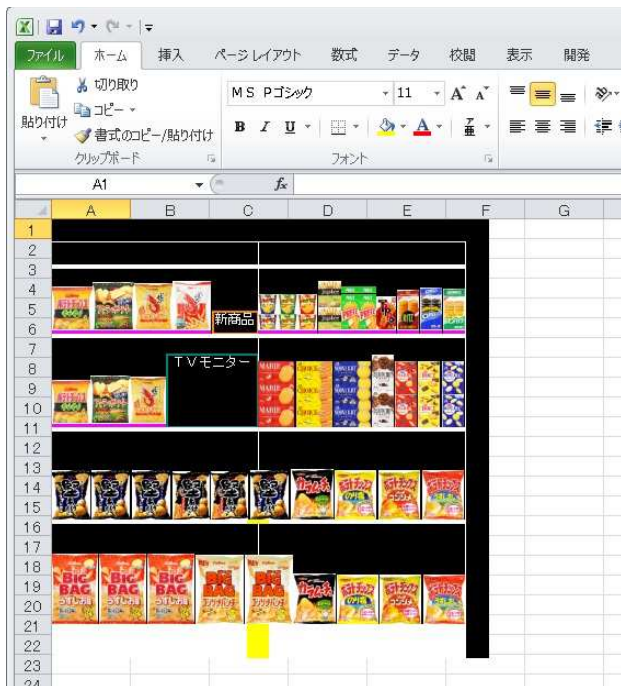
〔棚割操作〕－〔画像出力〕をクリックします。
出力台や背景色を選択します。

【出力台】
「全全」「台別」「台別(1頁出力)」「現在表示領域」より選択します。

【表示設定】
棚割画像をどのくらいの大きさで出力するか設定します。
「手動設定」「棚高基準」「棚幅基準」より選択します。
手動設定の場合は右側のテキストボックスに表示解像度を直接入力することで調整できます。

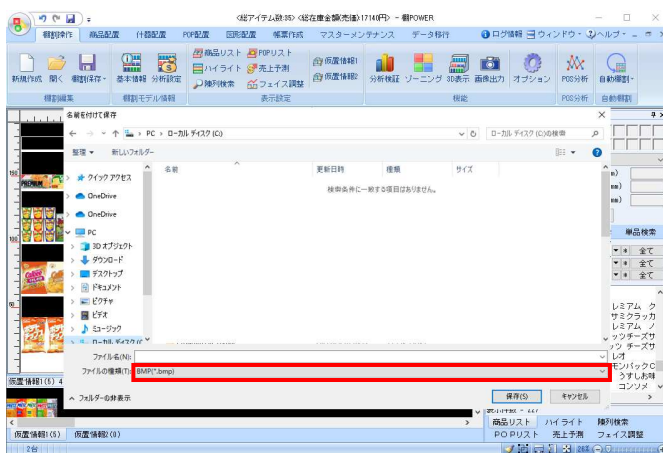
※表示解像度の数値を小さくすると、出力ファイルサイズは小さくなりますが、出力する画質は粗くなります。

【背景色】
ペイントアイコンより背景色を自由に変更できます。



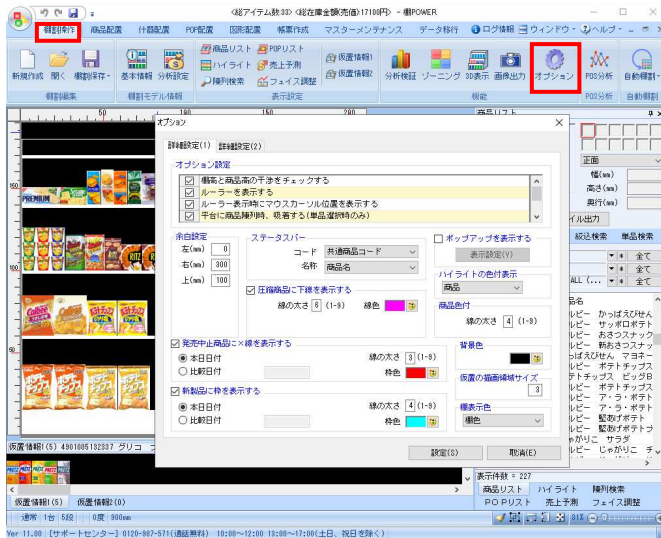
38. クリップボード出力を行ないます。
画像出力画面内の〔クリップボード〕をクリックします。

その後、Excel上にクリップボードを貼り付ける場合は、Excelを開いて、〔貼り付け〕を実行します。



39. 画像ファイルとして出力する場合は、〔ファイル出力〕をクリックします。

ファイル名やファイルの種類を選択して出力します。
ファイルの種類は「BMP」「JPEG」「EMF」の3種類より選択可能です。

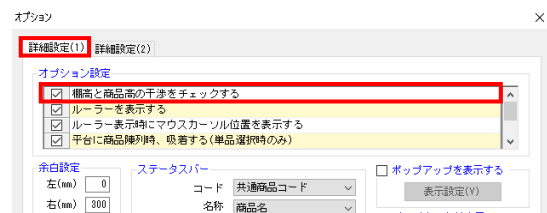


40. ルーラーの表示や余白設定などをする場合はオプション画面より設定できます。

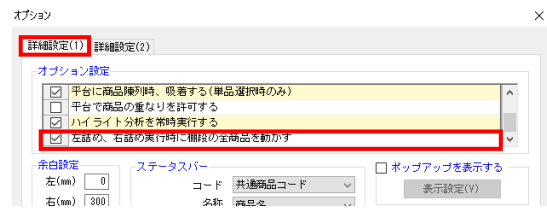
〔棚割操作〕－〔オプション〕をクリックします。

オプション画面内には棚POWERを使う際に便利な機能が集約されています。

【棚の上段を越えて商品が陳列できないようにする】
棚の上段を越えて商品が陳列できないようにする場合は、オプション設定の「棚高と商品高の干渉をチェックする」を有効にします。
反対に、商品高が高い商品など上段を越えて陳列したい場合は、「棚高と商品高の干渉をチェックする」を無効にします。



【陳列時に同じ段にある商品も含めて位置を変更する】
※商品の陳列や移動の際に、同じ段にある他の商品も含めて左詰め/右詰めで陳列する場合には、〔詳細設定(1)〕内オプション設定の「左詰め、右詰め実行時に棚段の全商品を動かす」を有効にします。

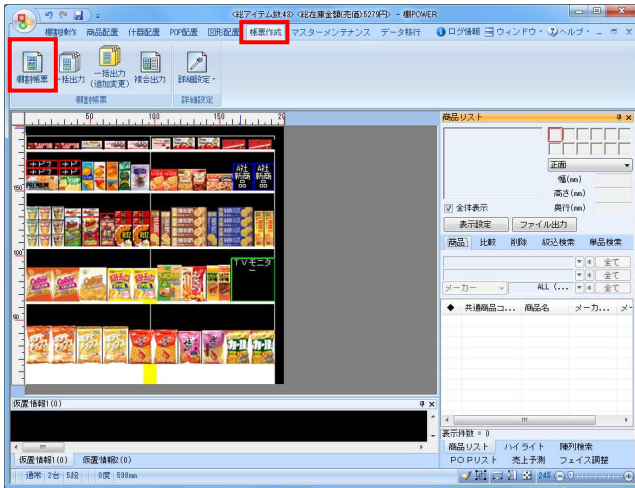


【陳列商品の上に売上情報を表示する】
棚割編集画面上に売上情報を表示したい場合は、〔詳細設定(2)〕内の売上情報を有効に〔設定〕します。

アイテム単位で売上情報を表示する場合は、「アイテム単位」を有効にします。

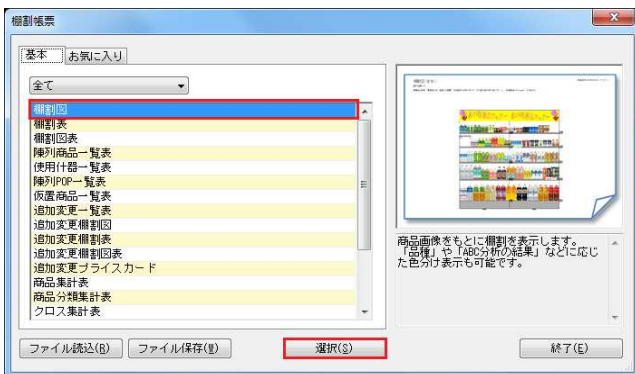


■ 帳票作成



1. 棚割モデルの作成が完了したので、続いて帳票の作成を行ないます。

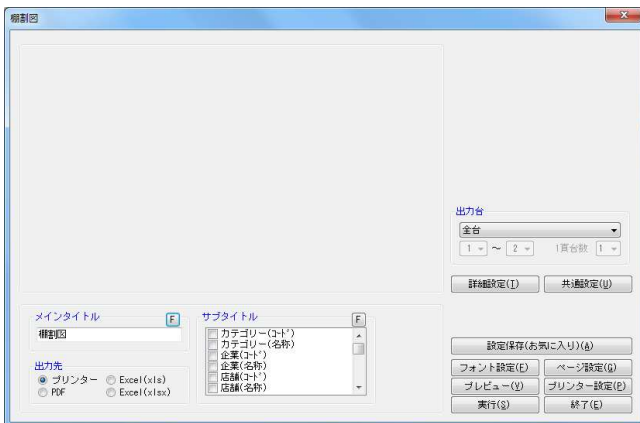
〔帳票作成〕－〔棚割帳票〕をクリックします。



2. 出力できる帳票の一覧が表示されます。
帳票名を選択すると右側に出力する帳票のイメージ図と概要説明が表示されます。

本テキストでは、棚割図を出力します。
棚割図は棚割編集画面をそのまま帳票に出力したものです。

帳票の一覧より「棚割図」を選択して、〔選択〕をクリックします。

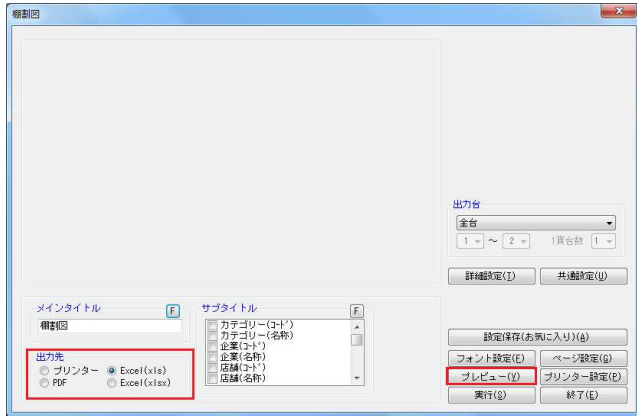


3. 棚割図の設定画面が表示されます。
棚割図の出力設定を行ないます。

【出力枚】
「全台」「全台(1頁台数指定)」「台別」「台別(1頁出力)」
から選択します。

【メインタイトル】
出力するメインタイトルを入力します。
[F] ボタンより、フォント調整が可能です。

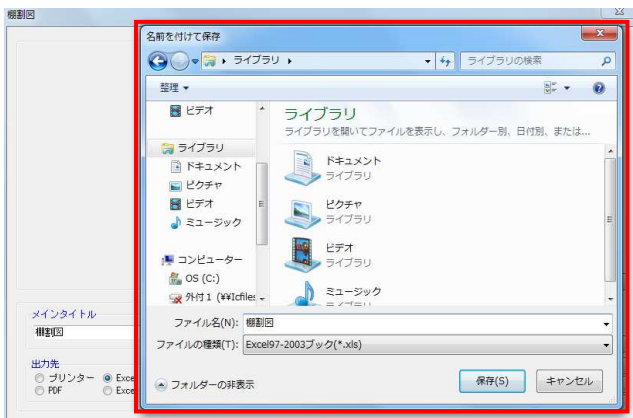
【サブタイトル】
「棚割モデル名称」「作成者氏名」「総アイテム数」
など出力したい項目にチェックを入れて設定します。
[F] ボタンより、フォント調整が可能です。



4. 帳票設定画面の「プレビュー」をクリックすると出力される内容を確認することができます。

出力先よりプリンター、Excel出力などを選択します。

※Excel(xls) はMicrosoft Excel 97-2003形式、
Excel(xlsx)はMicrosoft Excel 2007以降の形式で出力されます。



5. 出力先選択後、「実行」をクリックします。
保存場所を決定して、任意のファイル名を入力して「保存」をクリックします。

以上で、棚割図の出力は完了です。

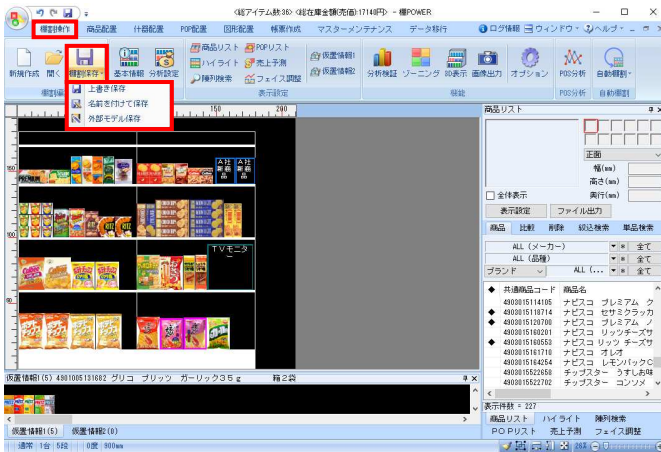


6. 出力後、画面右上の「×」ボタン、もしくは画面右下の「終了」ボタンをクリックします。

前回の設定内容から変更があった場合には、「今回の設定内容を次回にも適用しますか?」メッセージが表示されます。

「はい」を選択すると帳票の設定内容が保存されます。
設定保存を行なうと、次回以降に同じ設定で出力する場合の手間を省略することができます。

■モデル保存



1. 棚割モデルを保存します。

「棚割操作」－「棚割保存」をクリックして、表示する3つの保存方法から選択します。

新規作成した棚割モデルを保存する場合は「上書き保存」や「名前を付けて保存」を選択します。

【内部モデル】

棚POWERの環境設定で指定している専用フォルダーに保存したものを「内部モデル」と呼びます。1フォルダー内に保存するため、モデルの管理が容易で、モデルを開く際に検索条件の指定が可能です。

【外部モデル】

棚POWERの環境設定で指定している専用フォルダーとは別の場所（マイドキュメントやデスクトップなど）に保存する棚割モデルを「外部モデル」と呼びます。

フォルダーを分けることが可能なため、得意先ごとに管理することができます。他の担当者や得意先と棚割モデルを受け渡しすることが可能です。



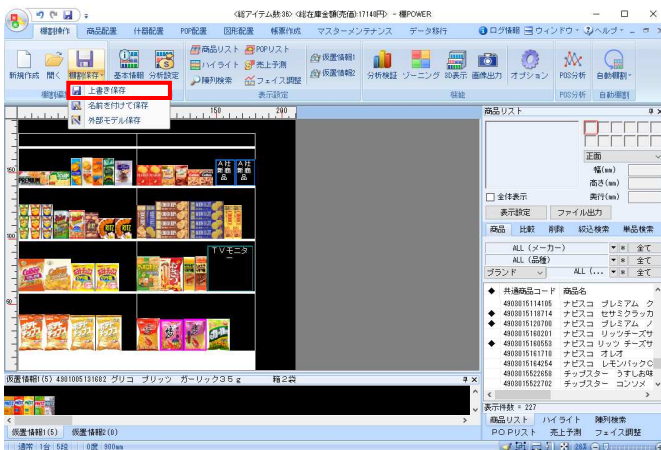
2. 内部モデルで保存します。

「上書き保存」もしくは「名前を付けて保存」をクリックします。

「基本情報」画面が表示されます。修正する必要がある場合は、入力し直すことが可能です。「保存」をクリックすると内部モデルとして保存されます。

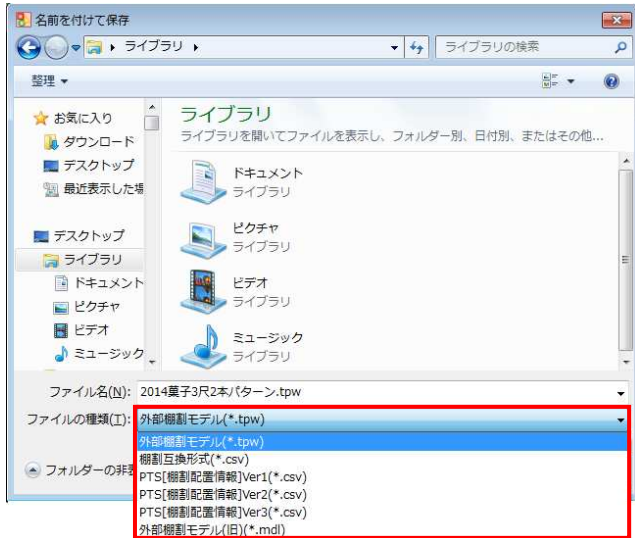
※新規作成で「上書き保存」を実行すると基本情報の登録画面が表示します。

内部モデルを開いて「上書き保存」を実行した場合には基本情報の登録画面は表示されません。



3. 外部モデルで保存します。

「棚割操作」－「棚割保存」－「外部モデル保存」を選択します。



4. 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
任意のファイル名を入力して、ファイルの種類を選択します。

棚POWER独自形式である「外部棚割モデル (*.TPW)」を選択して「保存」をクリックします。

【外部棚割モデル (*.TPW)】

棚POWER独自の形式であり再現性が高く、棚POWER同士のやり取りをする場合に使用します。

【棚割互換形式 (*.csv)】

棚POWER、店POWERほか、棚割リンク、StoreManager (GXシリーズ) 間でデータ連携を可能にしたフォーマットです。

【PTS[棚割配置情報]Ver1 (*.csv)】

他社棚割ソフトと棚割モデルをやり取りする共通のフォーマットです。

【PTS[棚割配置情報]Ver2 (*.csv)】

他社棚割ソフトと棚割モデルをやり取りする共通のフォーマットです。在庫情報や什器情報を持っているため、Ver1よりも再現性が高くなっています。

【PTS[棚割配置情報]Ver3 (*.csv)】

他社棚割ソフトと棚割モデルをやり取りする共通のフォーマットです。Ver2に加え、積上や手前挿入の情報も持ち、更に再現性が高くなっています。

【外部棚割モデル(旧) (*.mdl)】

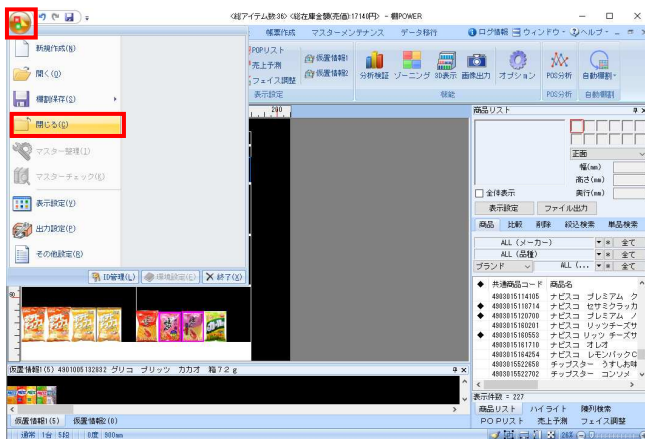
Ver17以下の棚POWER独自の形式です。



5. 保存を実行すると「外部モデル保存」画面が表示されます。

仮置情報に陳列されている商品や分析情報(売上情報の割り当て)を含めて保存する場合は、どちらにもチェックを入れます。

「設定」をクリックします。
以上で外部モデル保存は完了です。

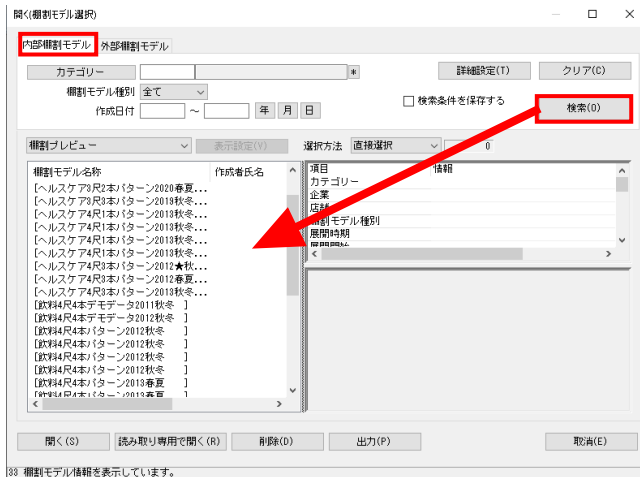


6. 編集した棚割モデルを閉じます。
画面左上の棚POWERの丸いボタンをクリックします。

メニューの一覧より、「閉じる」をクリックします。



7. 保存した棚割モデルを開きます。
[棚割操作] - [開く] をクリックします。



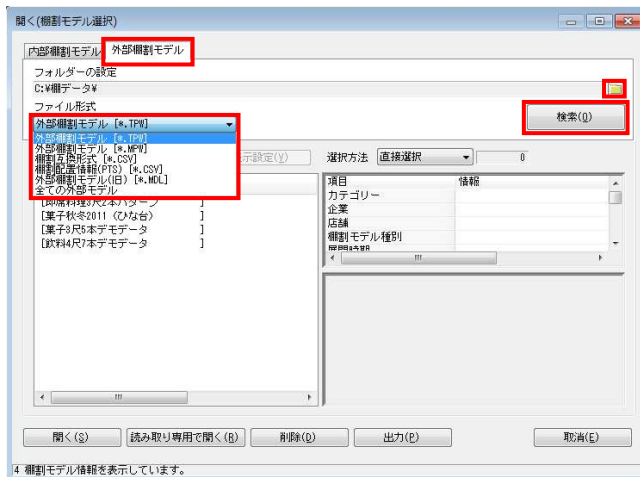
8. 内部モデルを開く方法を確認します。
[内部棚割モデル] タブ内にある[検索] をクリックし、一覧より編集したい棚割モデルを選択して、画面左下の[選択] をクリックします。

「カテゴリー」「棚割モデル種別」「作成日付」を指定して対象モデルを絞り込むことが可能です。

また、[詳細設定] から企業/店舗などの棚割分類を指定したり、陳列済商品のJANコードを指定したりして、さらに対象モデルの絞り込みが可能です。

※「検索条件を保存する」を有効にして画面を閉じると、次回以降、同じ詳細設定の設定条件で検索できます。

※棚割モデルを選択後[読み取り専用で開く]で開くと、棚割編集の行えない「参照用」として表示されます。確認だけを行いたい、または商品や什器の複写だけを行い、編集しないようにしたい場合に使用します。



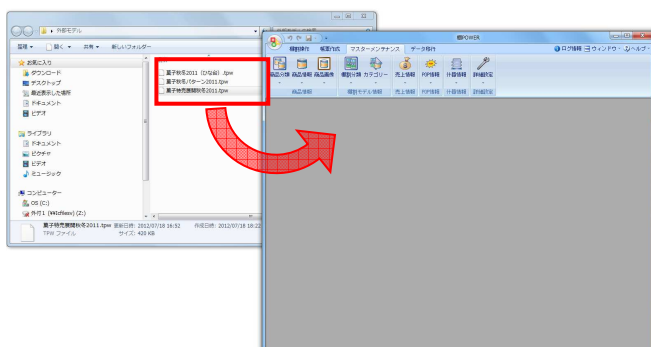
9. 外部モデルを開く方法を確認します。
[棚割操作] - [開く] をクリックします。

[外部モデル] タブより、外部モデルが保存されているフォルダーの右側にあるフォルダーアイコンをクリックして、外部モデル保存先を指定します。

次に、指定されたフォルダー内にある外部モデルの形式をファイル形式の一覧より選択して[検索] をクリックします。

検索結果の一覧より、開きたいモデルを選択して[選択] をクリックすると棚割モデルが開きます。

※「外部棚割モデル[*.*MPW]」は、店POWERより出力された棚割モデル形式です。



10. また、保存した外部モデルを棚POWER画面内にドラッグ&ドロップすることで開くことも可能です。

11. 以上で「棚割編集 -基本編-」は終了です。

- ※ 棚POWERは株式会社サイバーリンクスの登録商標です。
- ※ その他記載されている商品名、社名は一般に各社の商標および登録商標です。

スペースマネジメントシステム

棚POWER®

棚割編集 -基本編-

2025 年 5 月発行(第 9 版)



発 行

株式会社 **サイバーリンクス**
棚POWER サポートセンター